

<b>クミルロン・テニルクロール剤</b> <b>マットタブジャンボ</b>	<b>取扱メーカー：</b> 日農  <b>原体メーカー：</b> 丸紅アグロ、エス・ディー・エス
<b>成分：</b> クミルロン〔尿素系 PRTR・1種〕……………18.0% テニルクロール〔酸アミド系〕……………3.0%	<b>性状：</b> 類白色錠形（厚さ1.8cm，直径5cm，重量50g／個）  <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】……………

- 発泡性固形タイプのジャンボ剤なので投げやすく、優れた拡散性を示し、風の影響を受けにくい。
- 移植前（北海道を除く）又は移植後での処理が可能である。
- 広い殺草スペクトルと、優れた残効性で、スルホニルウレア系除草剤抵抗性雑草にも効果を発揮する。
- 体系処理でクログワイにも有効である。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】……………

- 雑草の発生前から発生始期に有効なので、ノビエの1葉期までに散布する。

#### 〈多年生雑草の散布適期〉

雑草名	散布適期
ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ	発生前～発生始期まで
クログワイ	発生前

- クログワイは、発生期間が長く、遅い発生のものには十分な効果を示さないので、有効な後処理剤との組み合わせで使用する。
- コナギの多発田では効果が劣ることがあるので、コナギに有効な薬剤と組み合わせで使用する。
- 散布に当たっては、水の出入りを止めて5cm程度の湛水状態で投入する。
- 水口施用の場合は入水時に本剤を重ならないように施用し、流入水とともに水田全面に拡散させる。処理後田面水が5～6cmの湛水状態に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意する。

- 10a当り10個の割合で水田に均等に投げ入れる。
- 移植前に散布する場合は、代かき直後の甚だしい濁水への散布はさける。
- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

### 【薬効・薬害等の注意】……………

- 共通注意事項の5、水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。
- 以下の条件下では薬害を生じるおそれがあるので使用をさける。
  - 砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm／日以上）
  - 軟弱苗を移植した水田。
  - 極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田。

### 【安全対策上の注意】……………

- 魚類に影響を及ぼすので、使用時は注意。
- 藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。
- 散布器具・容器の洗浄水及び空容器は適切に処理する。
- 濡れた手で扱わない。

【適用と使用法】 .....

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ	移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで	5～10個 (250～500 g)	水口施用	1回 ※
		植代後～移植前7日 又は 移植直後～ノビエ1葉期 但し、移植後30日まで		水田に投げ 入れる。	

※クミルロンを含む農業の総使用回数 : 2回以内

※テニルクロールを含む農業の総使用回数 : 2回以内